

# 第 1 章

## 中央市の景観特性と課題



## 第1章 中央市の景観特性と課題

### 1. 中央市の概況

中央市は、山梨県のほぼ中央に位置し、東は甲府市に、北は昭和町に、西は釜無川を挟んで南アルプス市に、南は市川三郷町に接する田園住宅都市です。

市北部の田富、玉穂地域は、釜無川により形成された沖積平野の平坦地が広がり、市街地や住宅地、田園地域が形成されています。また、市南部の豊富地域は、御坂山地の豊かな自然環境に恵まれ、里山と一体となった農業集落地域が形成されており、両地域は笛吹川によって隔てられています。

本市は、市の西側を JR 身延線が南北に走り、中央自動車道甲府南 IC、甲府昭和 IC に近接しているほか、新山梨環状道路（南部区間）が東西に横断し、その西端は中部横断自動車道南アルプス IC と連絡しているなど、広域的な交通条件に恵まれた都市です。また、平成39年（2027年）開通予定のリニア中央新幹線の新駅が隣接し、交通結節機能の強化や産業・観光振興など、リニア効果を活かした長期的な発展が期待されているところです。

一方、本市は御坂山地や曽根丘陵の豊かな自然環境を背景とし、笛吹川、釜無川など多くの河川の水辺に囲まれた潤いある景観を有しています。また、県内でも有数の米や野菜の生産地であり、平野部の広大な水田地帯や丘陵地の果樹園が広がる田園景観が大きな特色となっています。

このように本市は、甲府盆地の「へそ」であるとともに交通の要衝地でもあることから、県内有数の商工業の集積地となっており、高い都市機能も備えています。活発な農作物生産地としての側面も併せ持ち、良好な田園景観と都市的景観、後背の農村里山景観など、諸機能の集積と豊穡な大地に培われた景観が織りなす特徴的な表情を併せもつ都市です。



・釜無川とハケ岳



・医大南部土地区画整理事業地

#### ■中央市の広域的位置



## 2. 中央市の景観特性

中央市の景観特性は、現況調査結果から景観的な基調や骨格を成す主要な景観（＝「中央市らしさが現われている景観」）と、これに地域らしい特色を添えている主要な景観（＝「市民の暮らしや営みを映し出す景観」）に分類し、下記の示す11の景観特性を整理しました。

### ■中央市の景観特性

#### ■中央市らしさが現われている景観

- ①清流と水辺の景観
- ②まちを陰影づける緑と森林景観
- ③見渡す眺望景観と見下ろす眺望景観
- ④広がりのある田園景観
- ⑤豊富の農村里山景観と養蚕の記憶
- ⑥賑わいのある市街地景観
- ⑦地域の人々に守られてきた桜の風景
- ⑧身近な資源が伝える歴史文化的な景観

#### ■市民の暮らしや営みが映し出す景観

- ①日々の暮らしを映すまちなみ景観
- ②公園など身近に親しむ施設の景観
- ③交流や活動の景観



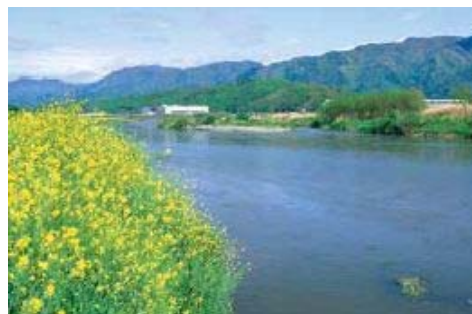
## (1) 中央市らしさが現われている景観

### ① 清流と水辺の景観 ～笛吹川・釜無川などの河川、水路、湧水などの水辺景観～

中央市は、南部に山地・丘陵地、北部から中央部に平坦地が広がり、その間を笛吹川が東西に流れ、市域西端を釜無川が南北に流れています。この大きな地形構造が、本市の景観の骨格を形成しています。

また、鎌田川、山王川、常永川、浅利川など数多くの河川とともに、農地や集落を巡る水路や湧水などの水辺の風景は、本市の景観の大きな特色のひとつです。

- 甲府盆地の水が集まるという特色をもつ本市は、その恩恵である肥沃な土地を耕しながらも、一方では度重なる水害の苦難を乗り越え、今日を築いてきました。
- 釜無川、笛吹川沿いはサイクリングロードが整備され、堤防沿いの道路や主要な橋からは、南アルプスをはじめ、甲府盆地外周の山々の眺望と良好な水辺の風景が楽しめます。
- また、水辺とのふれあいを高める「水辺の楽校（がっこう）」の取り組みなどが進められています。



・ 笛吹川

#### 【景観特性からみた個別課題】

- 良好な水辺景観と清流の維持・保全
- 水辺に向かい、水辺とつながる風景づくり
- 水辺空間のレクリエーション活用
- 湧水の顕在化
- ホタルなどの生態系の保全
- 治水安全性の向上

・・・など

### ② まちを陰影づける緑と森林景観 ～御坂山地の豊かな森林景観、鎮守の森などの身近な緑の景観～

森林の多くは、豊富地区の御坂山地から丘陵地にかけて広く分布し、本市の緑の景観の骨格を形づくっています。

この他、平坦地においては社寺林や公園緑地等の身近な緑が分布しており森林面積は市域の約17%を占めています。

- 御坂山地や曽根丘陵の森林は、スギやヒノキなどの針葉樹のほか、クヌギ、コナラなどの広葉樹も広く分布しています。これらの森林は、都市田園地域の背景を成し、四季折々の風景をみせてくれます。
- 豊富地区の山の神千本桜周辺はハイキングコースなどが整備され、自然レクリエーションの場として市内外の人々に親しまれています。
- 平坦地では、市の花でもある春先の農地を彩るれんげ草など、美しい半自然の景観が広がります。また社寺等の鎮守の森や公園の緑は、まちなかの貴重な緑地として市民に親しまれています。



・ 豊富地区と御坂山地に連なる森林

#### 【景観特性からみた個別課題】

- 山の手入れ、森林の維持・保全（マツクイ虫被害や人出不足、間伐などの適切な森林整備）
- 森林空間のレクリエーション活用
- 貴重な動植物、生物多様性の維持・保全
- 山崩れ、土砂災害等の防止
- 身近な緑の維持・管理

・・・など

### ③見渡す眺望景観と見下ろす眺望景観 ～広い農地や丘陵地などからの眺望景観～

本市は甲府盆地の中央部に位置することから、平坦地からは甲府盆地を取り囲む山々を遠望する 360° のパノラマ景観が展開しています。一方、高台からは甲府盆地を見下ろす眺望景観を楽しめるなど、多彩な眺望景観をみることができます。

- 平坦地の田園地帯や堤防などからは、南に富士山と御坂山地、西に南アルプス、北にハケ岳や秩父の山々、東に大菩薩連嶺といった、甲府盆地を取り囲む主要な山々を 360° のパノラマ景観として眺望することができます。これは、甲府盆地のへそ・中央部に当たる立地や、眺望を阻害する高い建築物や工作物が少ないことなどが要因となっています。
- 豊富地区の丘陵地、御坂山地の林道やハイキングルートなどからは、南アルプス、ハケ岳、秩父山地、大菩薩連嶺といった山並みを背景に、眼下に広がる甲府盆地の眺望景観を楽しむことができます。
- その他、河川の水辺景観と一体となった橋上からの眺望、新山梨環状道路からの甲府盆地と山々の遠望など、公園や広場、道路、公共施設といった身近な場所からも、日常的に眺望を楽しめる良好な眺望場所が数多くあります。



・田富地区南部の広い農地と秩父山地の山並み

#### 【景観特性からみた個別課題】

- スカイラインや山腹の森林などの眺望景観への配慮
- 眺望景観の観光や地域振興への活用
- 眺望場所の保全と魅力の向上
- 良好な眺望場所の発掘と周知
- 眺望景観を阻害する要因の改善
- ・・・など

### ④広がりのある田園景観 ～平坦地に広がる田園景観、丘陵地に展開する樹園景観～

平坦地には広い水田地帯があり、周囲の山々を背景に広がる広大な田園景観は、本市の大きな特色となっています。また、丘陵地には畑地や樹園地の景観が展開しています。

- 田富地区・玉穂地区を中心とする平坦地にはまとまりのある優良農地が広がり、広々とした田園景観が展開しています。
- 豊富地区の丘陵地には畑地や樹園地が地形に即した形で分布し、それぞれ特色ある農地の景観を形成しています。
- グリーンツーリズムなど農地を活用した地域活性化の取り組みが進められ、体験農園や観光農園など農を介した交流の風景も多くみられます。
- 休耕地では、れんげ草を活用したお花畑づくりをはじめ、地域住民による「めだかの里」や「めだかの広場」の取り組み、市民農園の検討など、観光と連携した有効利用が進められています。



・玉穂地区南部の優良農地

#### 【景観特性からみた個別課題】

- 美しい田園風景の維持・保全
- 優良農地の保全（宅地開発の圧力の高い市街地周辺の農地の保全）
- 耕作放棄地の景観活用
- 農地を介した観光・交流の促進
- ・・・など

## ⑤豊富な農村里山景観と養蚕の記憶 ～里山と一体となった伝統的な農村景観と営みの記憶～

豊富地区は、御坂山地の山麓や丘陵地に雑木林、果樹園、野菜畑と集落地が地形に沿って展開する身近な山里の景観が形成されています。小さな集落地、小川や水路、里山と農地等が一体となった景観は、平坦地が広がる中北部とは対照的な景観であり、郷愁を誘う農村里山景観が残されています。

- 豊富地区の集落景観は、里山を背景に丘陵地のゆるやかな起伏に沿って、小川や水路、屋敷林、蔵、社寺などが点在し、道祖神、塚・祠など身近な歴史文化資源も多く見られます。こうした農村里山景観は、中北部の平坦地に広がる田園景観とは対照的な景観となっています。
- 特に、大鳥居地区や関原地区などでは、古くからの農村景観が残されています。
- 豊富地区は、近世以降、見渡す限り桑畑が広がる全国でも有数の養蚕の里として発展してきました。山の神千本桜で知られる山の神神社は、蚕の神様として信仰されるなどの民間信仰も息づいています。
- 近年、道の駅とよみやシルクふれんどりいなどの観光交流施設を活用した観光や農業体験などの交流活動が活発となっています。



・豊富地区大鳥居の集落地

### 【景観特性からみた個別課題】

- 森林の維持・保全
- 里山・農村景観の保全と再生
- 樹園地の維持・保全
- 養蚕の里の潜在的資源の活用
- 豊富地区の活性化（観光、体験、レクリエーション活用など）

・・・など

## ⑥賑わいのある市街地景観 ～都市化の進行により変遷していく市街地景観～

本市は、田富地区と玉穂地区を中心に都市基盤整備等による市街化が進み、多彩な表情を持つ、賑わいある市街地景観が形成されています。

- 田富地区と玉穂地区を中心に市街地が形成され、その周辺に郊外住宅地や集落地、田園が広がり、コンパクトで、緑豊かな田園都市の景観が形成されています。
- 田富・玉穂地区は、これまで肥沃な土地を利用して農業集落地が形成されてきましたが、近年においては大型店舗の集積や工業団地の整備、リバーサイドタウンの建設などにより、市街化が急速に進展しています。
- 山梨大学医学部周辺は、大学や病院、周辺の土地地区画整理事業地、大規模店舗などが一体となった整然とした学園住宅都市の景観を呈しているのが特徴です。
- 市街地は、市内に分散立地しており、商業地や地域の拠点、庁舎周辺、身延線の駅周辺、多くの人が集まる施設周辺など、それぞれの拠点としての特徴を反映した、個性と賑わいあるまちなみ景観が形成されています。
- リニア中央新幹線は本市北部を横断し、玉穂地区高橋・極楽寺周辺が新駅に隣接するなど、リニア効果による地域活性化が期待される一方、新たな景観形成が望まれています。



・玉穂庁舎周辺

### 【景観特性からみた個別課題】

- 市の顔となる景観まちづくりを牽引する景観形成と魅力づくり
- 自然との共生、地域景観と調和した市街地景観の形成
- 郊外部における虫食いの宅地化、農地と宅地の混在に対する景観的な対応
- 市街化の進行に伴う景観上の課題への対応
- リニア中央新幹線および新駅整備による市街地、田園景観等への影響への対応

・・・など

## ⑦地域の人々に守られてきた桜の風景 ～大切に守られてきた乙黒桜と山の神千本桜の風景～

山の神千本桜、復活が望まれる乙黒桜、リバーサイドや新道坂の桜並木など、桜は市のシンボルでもあり、地域の人々に大切に守られてきました。桜の風景は、本市の風物詩であり、多くの人々の心象風景として刻み込まれています。

- 山の神千本桜は、豊富地区の標高約800m付近にある山の神神社への登山道に沿って続く桜並木であり、地域の人々により大切に守られています。桜の花が麓から山の神神社へと咲き登る姿は、龍が天に向かって昇るようにも見え、本市に春を告げる代表的な景観となっています。
- 登山道からは、南アルプスや秩父の山々を背景に甲府盆地の大パノラマ景観を望むことができ、周辺は市民の自然とのふれあいの場として親しまれています。
- 乙黒桜は、かつて玉穂地区乙黒の土手を彩り、「乙黒の花見」として多くの人々に親しまれた桜です。土手の改修により伐採されてしまい、地域ではこれを惜しむ声が根強くあります。現在は、長林寺や玉穂ふるさとふれあい広場などに名残りがみられる程度ですが、近年、再生に取り組む動きもあり、乙黒桜が咲き誇る風景の再現が望まれています。



・山の神千本桜

### 【景観特性からみた個別課題】

- 山の神千本桜の維持・保全
- 乙黒桜の再生
- 既存の桜の維持と魅力の向上
- 桜の観光、レクリエーション活用

・・・など

## ⑧身近な資源が伝える歴史文化的な景観 ～地域の歴史文化を今に伝える景観資源～

市内には、文化財等の貴重な歴史的資源や、養蚕の里としての文化的景観、水害と向きあってきた有形無形の歴史文化的資源など、地域の歴史や成り立ちを伝える資源が数多く残され、地域景観を特徴づけています。

- 本市は度重なる水害の歴史をもち、平坦地では多くの貴重な歴史文化的資源を流失してきましたが、豊富地区には遺跡や史跡等の歴史文化的資源が数多く残されています。
- 水害と向きあった歴史文化の景観としては、無形文化財である「粘土節」がある他、数多くの潜在的資源が残されています。
- 豊富地区の木原は、かつての中道往還の右左口宿の助郷であり、田富地区には、甲府と駿河を結ぶ河内路（身延道）が通るなど、周辺には、古道にまつわる歴史的資源も多く分布し、往時をしのばせる大切な財産となっています。
- その他、地域には、社寺や大木・古木、古民家や蔵、塚、祠、道祖神、石仏、水路や堰など、地域の歴史を伝える身近な歴史文化的資源が数多く分布しています。



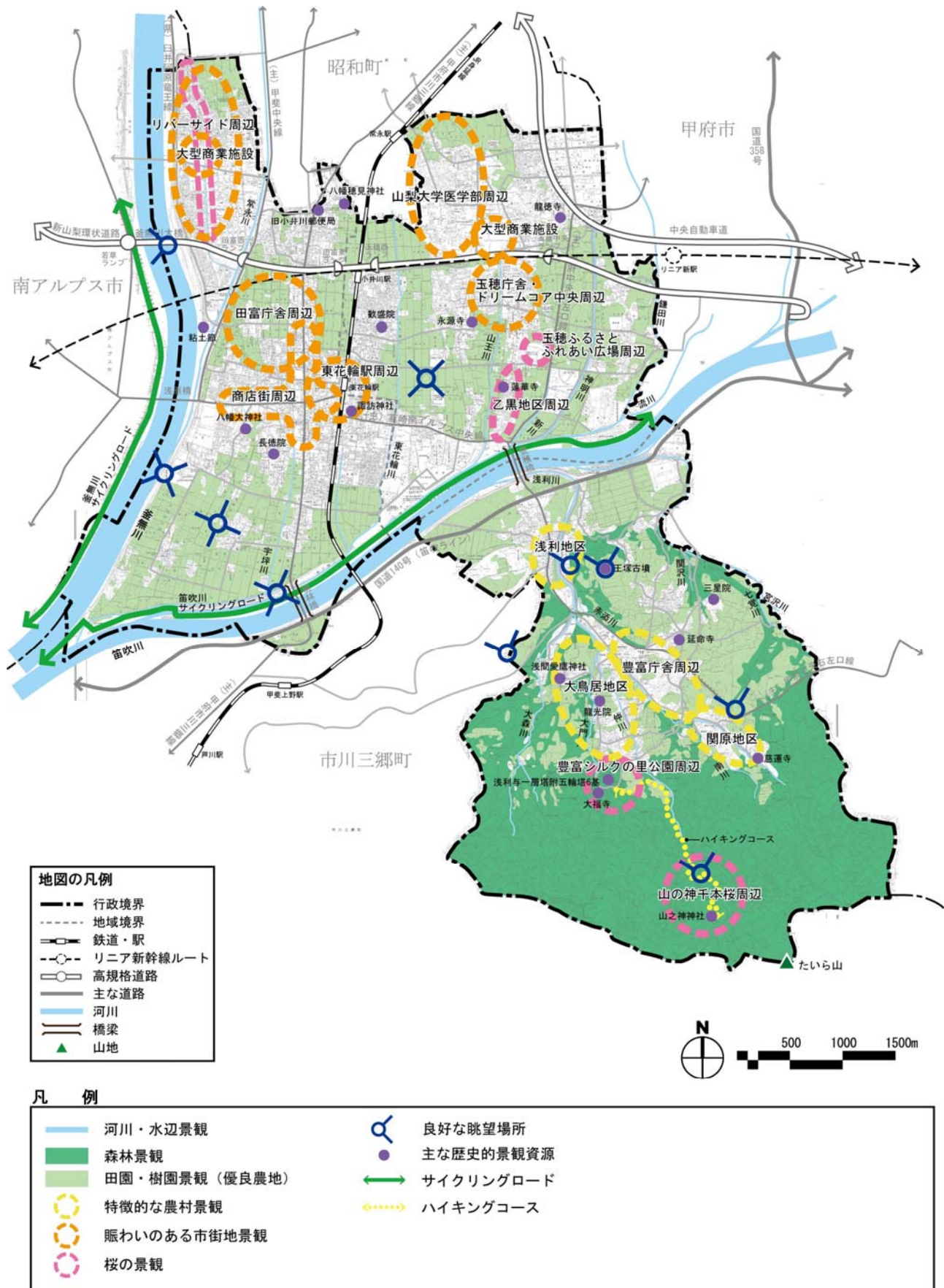
・浅利と一層塔と五輪塔

### 【景観特性からみた個別課題】

- 遺跡・史跡等の保全
- 歴史文化的資源の保全と価値の再認識
- 潜在的な歴史文化的資源の発掘と景観づくりへの効果的な活用
- 身近な歴史文化的資源の景観活用

・・・など

■中央市らしさが現れている景観特性図



## (2) 市民の暮らしや営みが映し出す景観

### ①日々の暮らしを映すまちなみ景観 ～商業地、住宅地、集落地、工業地等の景観～

大型店舗が集積する商業地景観、古くからの店舗や業務施設が立地する沿道のまちなみ景観、新たな表情を見せる住宅地景観、整然とした工業団地等の景観、田園や山里の集落地景観など、地域の特性や暮らしを反映したまちなみ景観が形成されています。

- リバーサイドタウンや山梨大学医学部周辺は、大型店舗が集積する賑わい景観を形成しています。
- 既存商店街は、東花輪駅西側の幹線道路沿いを中心に形成され、古くからの店舗や業務施設が立地する、本市の中心的な商店街のまちなみ景観を形成しています。また、国道140号や新山梨環状道路側道付近は、ロードサイド型の商業施設の立地が進むなど、まちなみ景観が変貌しつつあります。
- 田富・玉穂地区を中心とした市街化の進行から、周辺の郊外住宅地を含め、広い範囲で住宅市街地が形成されています。特に、リバーサイドタウンや山梨大学医学部周辺の新興住宅地は、計画的な住宅地開発により、ゆとりと整序感ある住宅地景観が形成されています。一方、市街地内の古くからの集落地では、昔ながらの地割が残り、道が狭く比較的密集した住宅地景観もみられます。
- 田富・玉穂地区の古くから形成された田園集落地は、まちなかを縦横に水路が流れ、環濠屋敷、馬入れみちや野みちと呼ばれる暮らしの道など、特色ある集落景観が残されています。
- 豊富地区の農村集落地は、河川や沢、地形に沿って小さな集落が点在し、後背の里山と一体となった農村集落景観が展開しています。一部には、養蚕の里として知られた集落の面影を残す景観もみられます。
- 本市は、山梨県流通団地、国母工業団地、山梨ビジネスパーク、一町畑工業用地、高部工業用地、山梨県食品工業団地などが立地する、県内屈指の工業・流通業の集積地でもあります。  
計画的に整備された工業・流通団地周辺は、整然とした基盤に工場や倉庫等が建ち並ぶ景観が形成されており、本市の代表的な産業景観のひとつとなっています。



・イオンタウンの大型商業施設



・リバーサイドタウン



・宇坪川と周辺の集落地

#### 【景観特性からみた個別課題】

- 周辺景観と調和する大規模店舗、工業地等の景観形成
- 店舗の郊外立地による市街地の空洞化、空き地・空き店舗の増加等
- 屋外広告物の適切な誘導
- 農地と宅地の混在した景観の整序
- 国道140号沿道の田園景観と調和した良好な景観誘導
- 住宅地の緑化と修景
- 特色ある集落景観の維持・保全
- ・・・など

## ②公園など身近に親しむ施設の景観 ～道路、公園緑地、公共公益施設等の景観～

道路をはじめ、市民に親しまれている公園緑地、主要な公共公益施設、大きな土木構造物などは、市民が日常的に目にしたり、利用頻度の高い施設です。そのため、率先して景観に対する配慮を行う必要があります。

- 市内には、商業地の賑わい景観を形成している道路、シルクラインなどの観光ルートとなっている道路、眺めの良い道路、街路樹の美しい道路、水辺のサイクリングロード、散歩道、馬入れ道や野みちといった暮らしの道など、地域景観の骨格を形成し、まちのイメージを印象づける特色ある道路景観が多くみられます。
- 市内には、田富ふるさと公園、玉穂ふるさとふれあい広場、豊富シルクの里公園など各地区に特色ある公園があり、中央市3大まつりの主要なイベント会場となるなど、市民の憩いの場、レクリエーションの場として親しまれています。
- 市内には、数多くの公共公益施設が分布しており、まちや地域のシンボル、目印として地域景観を特徴づけています。また、これらの施設では、景観に配慮した施設整備、市民による緑化や花植えなど、一定の景観形成への取り組みが行われています。



・玉穂ふるさとふれあい広場

### 【景観特性からみた個別課題】

- 地域の景観特性に配慮した道路整備
- 公園や施設の景観の維持・向上
- 身近な公園の整備・充実
- 公園樹木や街路樹など緑の維持・管理
- 市民による緑化・花植え等の推進
- 景観に配慮した施設のデザイン
- 土木構造物等の地域景観への配慮
- ・・・など

## ③交流や活動の景観 ～祭り・イベント、おもてなしの景観など～

年間を通して行われている様々な伝統的行事やイベントは、まちの賑わいを創出するとともに、地域の歴史文化や暮らしぶりを伝える風物詩となっています。また、多くの来訪者と交流を交わす、魅力あるおもてなしの風景が市内各地で見られます。

- 本市は、年間を通して稲穂まつりやれんげまつり、与一公まつりなど、多くの伝統行事やイベント等が行われ、これらは、多くの市民や観光客が訪れる本市の風物詩となっています。また、行事やイベントの賑わい景観は、まちや暮らしに活気をもたらすとともに、本市のイメージを発信する重要な機会、場ともなっています。
- 本市は、四季を通して、収穫祭や体験イベントなどのグリーンツーリズムの活動が盛んに行われています。また、豊富シルクの里公園等の観光レクリエーションの風景、道の駅とよとみ、四季新鮮収穫広場た・からなどは、来訪者をもてなす交流と賑わい景観を創出しています。

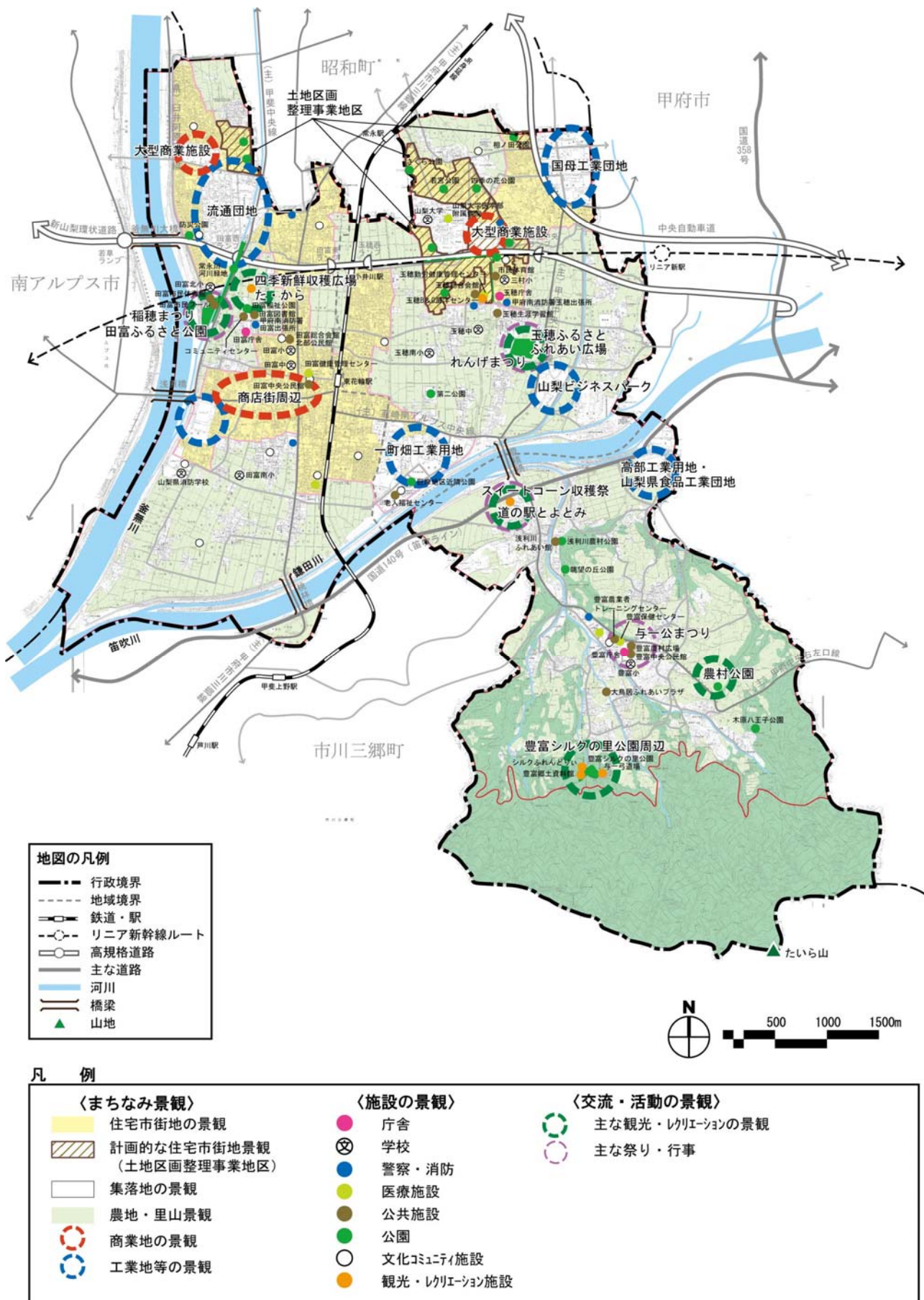


・れんげまつり

### 【景観特性からみた個別課題】

- 伝統行事、イベント等の魅力の向上
- グリーンツーリズムの推進
- 景観形成に関わる市民活動への支援
- PRの充実
- ・・・など

## ■市民の暮らしや営みが映し出す景観特性図



### 3. 景観形成に向けた市民意向

本計画の策定にあたっては、計画策定の初期段階から、「風景づくり市民懇談会」の開催と、「中央市景観市民アンケート調査」を実施し、多くの市民意向を伺い、計画への反映に努めてきました。

ここでは以下に、これらの主な市民意向を整理しました。

#### (1) 風景づくり市民懇談会の主な意向

開催期間：平成23年12月19日～平成24年9月28日 計6回開催（提案書提出含む）  
 参加者の概要：公募・地域推薦等による18名の市民  
 開催概要：ワークショップ方式による検討、「風景づくり市民プラン」のまとめ、提案書の提出

##### ■市民懇談会の主な提案 —重点テーマ別の提案より—

| 重点テーマ                     | 主 な 提 案 事 項                                                                                         |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 田園と都市が調和する風景をつくる       | ○広くまとまった農地と稲穂の風景の維持・保全／個性ある新たなまちなみ景観づくり／地域景観と調和するまちなみのルールづくり／おもてなしの景観づくり／公園や施設の景観づくり／緑のまちなみ景観づくり など |
| 2. 豊富地区の里山と集落景観を守り・活かす    | ○古くからの里山集落景観を守る／里のルートづくり／農山村が元気になる景観づくり／里山交流の環境づくり など                                               |
| 3. 中央市を象徴する桜の里づくりを進める     | ○歴史の桜を守り、活かす／桜の並木道と名所づくり／花と緑を楽しむルートづくり／大きな公園づくりと身近な小さな公園づくり／リニア高架構造物周辺への緑化、桜の植樹、植栽 など               |
| 4. 水辺や森林など自然に親しむ風景をつくる    | ○豊富地区の森林や四季折々の景観を守り、活かす／山の神干本桜を守り、維持する／中央市らしい水辺の景観の活用／ホテルやカフェの棲む里づくり／自然景観に親しむルートづくり など              |
| 5. 良好な眺望を風景づくりに活かす        | ○田園と山並みが一体となった360°の良好な眺望を守り、活かす／良好な眺望場所を活かす／快適な展望台をつくる／良好な眺望場所、展望台の緑の維持管理 など                        |
| 6. 身近な歴史・文化を顕在化し風景づくりに活かす | ○文化財や「人智」（水害の歴史）に培われた歴史文化を顕在化する／身近な歴史文化的資源を活かす／埋もれている資源を掘り起こし、活かす／歴史文化を「知る」ルートづくり など                |
| ●必要な手だて・仕組みづくり            | ○地域特性を活かし、地域の連携がとれた景観づくり／行政と住民の協働による仕組みづくり／郷土の風景へ関心や興味をもってもらうための仕組みづくり／景観を維持するために、今、先手をうつ課題への対応 など  |



・風景づくり市民懇談会ワークショップ風景

## (2) 中央市景観市民アンケート調査

調査対象：中央市全域、20歳以上の市民2,000人（票） ※無作為抽出

調査期間：平成23年11月9日～11月23日締切

配布・回収方法：郵送による配布・回収

回収結果：回収数630票、回収率31.5%

### ■アンケート調査結果による主な市民意向

※上位回答の傾向を整理

|           | 設 問                                                                                                                                                                                                                                                         | 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中央市の景観の現状 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●景観やまちなみへの関心</li> <li>●中央市の景観全体の評価</li> <li>●特に大切にしたい・自慢したい景観</li> <li>●近年の景観の変化               <ul style="list-style-type: none"> <li>○中央市全体の景観の変化</li> <li>○地域の身近な景観の変化</li> </ul> </li> <li>●景観を損ねている要因</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多少関心があるが約半数、関心があるとする回答は全体の8割強と、景観への関心度はかなり高い</li> <li>・多少素晴らしいと感じるが約4割強、景観を素晴らしいと感じている回答は全体の約6割強を占め、関心も高く景観への評価も高い</li> <li>・「山の神千本桜、乙黒桜、れんげ草などの四季折々の花の風景」が高く、四季折々の花の風景など自然や眺望景観、祭り・イベント、観光・交流の場、特徴的な田園景観などを挙げる人が多い</li> <li>・約4割が市全体の景観は良くなってきている、また、変わらないとし、幹線道路沿いの景観は良くなった・悪くなった双方の意見が相反して最も高く、市街地景観や観光・交流施設の景観は良くなったとする一方、農地の景観は悪くなってきているとする意見が多い</li> <li>・約5割近くが変わらないとしながらも、多少良くなってきているとする傾向がみられ、道路や水路の景観、地域の雰囲気と景観については良くなった・悪くなった双方の意見が相反して高い</li> <li>・維持管理のされない水路や耕作放棄地、ごみの不法投棄、電柱・電線類、鉄塔、携帯アンテナ塔、農地・森林等の無秩序な開発など、維持管理やルール・マナー、美観、開発行為に関わる阻害要因についての意見が多い</li> </ul> |
| 今後の景観づくり  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要と思う景観づくり</li> <li>●良好な景観づくりのために必要な手法</li> <li>●景観づくりに今後必要なルール</li> <li>●建築物の高さのルール</li> <li>●看板など屋外広告物の規制</li> </ul>                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ問題への対応と住民マナーの徹底、地域の顔となるまちなみ景観の形成と魅力の向上、農地の保全と耕作放棄地等を活用した風景づくり</li> <li>・行政による規制・誘導、景観計画や景観条例等の指針づくり、住民の環境美化活動や景観形成活動への参加が必要との意見が多い</li> <li>・敷地緑化や樹木保全のルールといった住民自らによる良好な景観づくり、看板や広告物、建築物や工作物の設置や意匠などのデザインルールなどが必要とする意見が多い</li> <li>・配慮すべきエリア内に限った制限や市全域で何らかの制限が必要とする意見が8割近くを占める</li> <li>・「現行の県条例の規制をより周知し、ある程度は規制すべきである」が6割近くを占める</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                               |
| 景観形成の市民参加 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●景観づくり活動への参加意向</li> <li>●景観形成のための協力意向</li> <li>●市民の景観づくり活動への支援策</li> </ul>                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・何らかの参加意向は5割近く、関心があるとする意向も約4割強あり、参加意向は高い</li> <li>・自発的な緑化・美化活動や身の回りのルール・マナーの徹底、イベントを通じた身近な景観の周知など、暮らしに身近な場からの景観づくりへの協力意向が高い</li> <li>・積極的な情報公開を最も重要とし、協働体制による景観づくりを考える場や機会づくり、表彰制度やコンクールなど意識啓発に向けた取り組みを望む傾向が高い</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

## 4. 景観形成に向けた主要課題

中央市の景観の現状、特性や景観形成に関する動向、多様な市民意向などを踏まえ、今後の景観形成に向けた主要課題を次のように整理します。

### （１）自然や眺望、潜在的な歴史文化など、中央市固有の景観資源を守り、活かすこと

笛吹川や釜無川などの河川、小川や水路、堰、湧水などは、市街地に近接する貴重な水辺景観となっています。本市南部に展開する森林は、自然の豊かさを感じさせる重要な景観であり、市街地や集落地をふちどる丘陵地の斜面樹林地は、まちなみの背景となり潤いを演出する景観資源となっています。

こうした豊かな自然景観や地形は、田園や堤防から見る山並みのパノラマ景観や丘陵地から見下ろす盆地の眺望景観をみることにより、明確に意識することができます。

また、身近な文化財や水防の歴史といった人智に培われた歴史文化的資源は、潜在的な景観資源としてその価値を見直し、適切な保全や再生に加え、相互に結びつけることが必要です。このことにより、本市の歴史文化的資源を景観資源として活かしていくことは、中央市全体の奥行きを感じさせる風景づくりに向けた第一歩であると言えます。

今後、これらの自然景観や広がりのある眺望景観を適切に保全するとともに、地域の歴史や文化をひも解く景観資源などを中央市固有の景観的な資産として守り、育むことで、市民の心の拠り所となる景観づくりを進めていくことが必要です。

### （２）中央市を象徴する郷土景観の魅力を活かし、育むこと

郷土の象徴的な景観としては、豊富地区の養蚕業を支えた集落景観、雑木林の里山の風景と眺望、春を彩り地域の手で育まれている「山の神干本桜」や、今なお地域に愛され、しのばれている「乙黒桜」などがあげられます。また、近年は、農を介したグリーンツーリズムなどによる交流や体験が盛んとなり、本市のイメージを喚起する重要な機会、場となっています。

こうした歴史や風土の中で形成された郷土景観や桜の風景、農の風景など、中央市らしさを象徴する景観づくりを進めていくことは、風景を介した交流、風景を原資とした観光、文化の育成に寄与することにもつながります。

また、このような景観は、地域住民により大切に守られてきていることが大きな特徴であり、これらを活かすことにより、市民との協働による景観形成が効果的に発揮されることも期待できます。

そのため、ふるさとに愛着や誇りを持てる景観に結びつく、これら郷土景観を象徴する景観資源を活かし、育むとともに、多くの人と交流を交わし、景観形成を通して地域活力を高める取り組みを積極的に進めることが必要です。

### （３）田園と都市が調和した中央市らしいまちなみ景観を創出すること

本市は、広がりのある田園景観、馬入れみちや野みちを残す集落地景観、土地区画整理事業などにより形成された新しい住宅地景観、特色のある商業地景観、基盤の整った工業地景観、丘陵地に展開する農村里山景観など、地域それぞれに個性的な地域景観が形成されています。

風景づくり市民懇談会では、「都市景観と農村景観の調和と、地域の特性を活かし、連携がとれた景観づくりを進めること」が、風景づくりの大切な視点として提案されました。

しかし、今日の中央市はまちづくりの動きが活発であり、まちなみ景観もその姿を変えつつあります。そのため、これからのまちづくりにおいては、まちなみ景観の整序を念頭に置き、各々の地域が守り、育んできた個性を尊重しながら、周辺景観や背景を意識し、田園と都市が調和した中央市らしいまちなみ景観を創出することが必要です。

また、中心市街地は、来訪者等に対して本市を強く印象づける「まちの顔」となるため、既存のまちなみ景観や田園集落景観との調和に配慮しながら、賑わいのある市街地景観を形成することが求められます。

さらに道路は、移動しながら、あるいは立ち止まって景観を見る「視点場」とであるとともに、新設道路については新たな土地利用や大規模建築物立地の誘因ともなります。また、道路そのものが、周辺景観に配慮すべき構造物ともなるなど、景観づくりを進める上で重要な役割を担っています。このように道路を含めた公共施設については、本市の景観づくりを先導する役割を担っているため、積極的に景観へ配慮した整備、更新が必要です。

#### (4) 地域特性に沿った景観を守り、高めるため、一定のルールづくりを進めること

中央市は、「暮らしやすさ」が、全国においても高く評価されている都市です。

中央市の景観は、ここに住む市民の様々な営みにより支えられています。自然を慈しむ心、マナーを大切にす心、地域やその風景を愛する心など、景観づくりには配慮や心づかいが必要となります。

景観市民アンケート調査では、6割以上の人が建築物の高さや屋外広告物の規制などについて、何らかのルール、制限が必要と回答しています。また、風景づくり市民懇談会では、地域特性に併せた景観コントロールやルールづくり、マナーの啓発が必要であると提案されています。

便利な暮らしや産業振興と中央市らしい良好な景観形成を両立させていくうえでは、建築物などの高さや色彩などに関する一定の制限は不可欠となります。また、そうした制限をかけるにあたっても、より良いものを創ろうとする新たな発想を大切にすることや、それらを受け止める仕組みをつくる必要があります。

一方、良好な地域景観を維持・創出するためにも、景観を阻害する要因について少しずつ除去・改善を図るとともに、開発や屋外広告物等に対する一定のルールに基づく規制や誘導についても検討が望まれます。

リニア中央新幹線については、高架橋が本市を東西に横断し、玉穂地区高橋・極楽寺付近に隣接する甲府市大津町に新駅が建設される計画となっています。リニア中央新幹線が本市に与える影響は大きく、地域活性化や産業・観光振興等に大きな期待が寄せられる一方、土地利用や道路交通、住環境への影響、高架構造物による眺望や風景の分断、環境への影響など、早期にその影響を検証し、対応を検討することが急務となっています。そのため、本市の様々なまちづくり計画との連携を図り、景観まちづくりの視点から、地域景観への配慮や新たな景観の適正な誘導など、適宜、関係各機関へ要請を図ることが必要です。

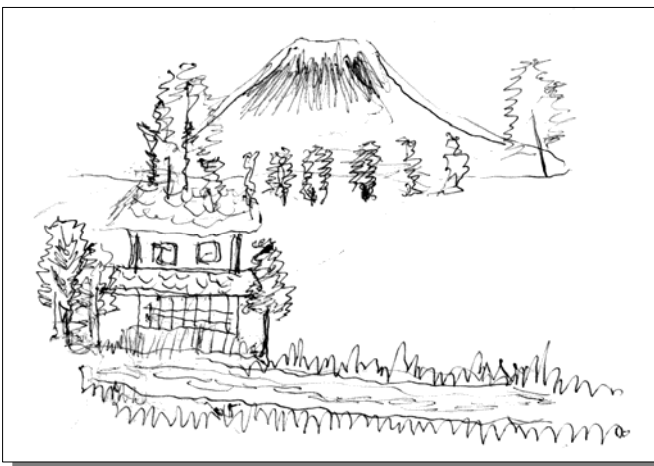
#### (5) 風景への意識を醸成し、協働で風景を守り、育む仕組みをつくること

景観は、土地や建物などのように私有財産、公有財産という境界で区切ることができません。私有地も公有地も目に映るものは全て「景観」として捉えられてしまいます。そのため、景観づくりにおいては、多くの市民の理解と協力が不可欠となります。

中央市の景観を育てるには、まず市民一人ひとりが景観に対する意識をもつことが大切です。さらに、地域の景観に対する関心を高め、できることから景観づくりに取り組んでいくことが重要となります。

こうした市民の景観に対する意識の醸成や景観づくりへの取り組みを推進していくためには、景観に関する市民の景観まちづくり活動への支援、市民組織との連携など、広く市民との協働体制を整えていくことが重要です。

さらに、景観計画の策定や景観条例の制定後は、これらを速やかに、かつ適切に運用していくことが求められるため、庁内の組織体制や、市民・企業（事業者）・行政などの協議の場となる組織づくりなど、様々な体制づくりとその充実が必要です。



●掲載の絵は、平成 23 年 11 月に実施した「景観市民アンケート調査」の自由記入欄（私の好きな中央市の風景）に描かれた絵の中から抜粋しました。